



富屋地区
シンボルマーク

みんなで 仲良くやっぺ ふるさと富屋

97号

2020 (令和2年)

12月発行

広報とみや

66年ぶりに「徳次郎」の読み方が「とくじら」に復活!

「徳次郎町」の読み方を「とくじろうまち」から「とくじらまち」とする町名変更についての議案が12月市議会で可決され、3月から「とくじらまち」となることが決まりました。昭和29年の宇都宮市と旧富屋村の合併により、公的には「とくじろう」という読み方になっていましたが、「とくじら」という名称には、歴史・文化的な背景があり、地元を始め広く愛着を持たれ継承されていることが認められての変更です。なお、市内において、地域の要望により町名が変更されるのは初めてのことでそうです。地域が一体となつての取組の成果です。

町名変更の要望から町名変更の施行までの流れは次のようになります。

町名変更の要望書の提出 4月21日	徳次郎町に関係のある7つの自治会（上町、中町、下町、門前、田中、西根、山王団地）と富屋地区連合自治会の総意を得て、町名変更の要望書を市に提出。
徳次郎町内の調査 6月18日、7月17日	徳次郎町内の視察と自治会役員等への聞き取りにより、反対運動が認められないことを確認。
住居表示等審議会の開催 7月30日、8月31日 市長への答申 9月25日	町名変更に関して、住居表示等審議会を開催、「町名変更に関する異議なし」という審議結果を市長へ答申。
議会で町名変更の議案が可決 12月23日 町名変更に関する告示	町名変更の議案が可決し、町名変更が告示され、併せて広報紙等で広報。
町名変更の施行 令和3年3月1日～	



「とくじら」の地名の由来は? 文化財調査員の池田貞夫さんに伺いました。

日光に勢力を持っていた久次良氏の一族が、奈良時代末期に現在の日光二荒山神社の御神体を千勝の森（現智賀都神社）に勧請し移り住んだことから、その一族を日光の宗家久次良氏に対し、「外」の「久次良」とし、やがてこの地域一帯を「とくじら」と称するようになったといわれています。

日光彫

一彫り一彫りに心をこめて



6年前、日光市杉並木公園ギャラリーに展示されていた、一枚の板から生み出された日光彫の作品の見事さに魅了され、日光彫を習うことにしました。伝統工芸士の先生に週1回教えていただいておりますが、鑿や彫刻刀の一彫りで作品のイメージが変わってしまうなど日光彫の奥の深さや難しさを感じています。また、それが面白味ともなっています。一彫り一彫りに集中し、一枚の板から、自分の思った作品ができたときはなんとも嬉しく思います。

また、一緒に日光彫を習っている20代から80代の方々との交流も楽しみとなっています。作品の数が増えたら、個展を開きたいと思っています。（金井町 北村 雅樹）

富屋の魅力

再発見・発信事業

事業概要

富屋地区まちづくり連絡協議会では、富屋地区の歴史・文化財を紹介し、富屋の魅力を実感してもらうために、今年度、「地域みんなの夢実現事業補助金」を活用し、富屋の史跡・文化財の案内板の設置とウォーキングマップの作成を行っています。案内板は、大きさ縦45cm、横60cm。12か所に設置しました。

案内板やウォーキングマップは、今後、ボランティアガイド養成講座や小中学校の郷土学習、各種ウォーキング大会・史跡巡り、市民向けまち歩き等に活用する計画です。

案内板設場所

- ①下徳次郎宿跡 ②徳次郎城跡 ③中徳次郎宿跡 ④上徳次郎宿跡 ⑤見世蔵（小日野屋）
- ⑥私塾明王院 ⑦人車鉄道徳次郎駅跡 ⑧西根石造建築群 ⑨徳次郎刀工鍛冶場跡（守勝神社）
- ⑩下横倉城跡 ⑪御岳山 ⑫大網高竈神社（大網の天棚）



案内板写真



このような形で12か所に設置されています。



① 下徳次郎宿跡



② 徳次郎城跡



③ 中徳次郎宿跡



④ 上徳次郎宿跡



⑤ 見世蔵 (小日野屋)



⑥ 私塾明王院



富屋に学ぶ子どもたち

○富屋小学校 富屋の子 元気・根気・思いやり

校長 村岡 裕之

今年度は、長期にわたる臨時休校期間の後、新しい生活様式の下での学校生活が6月にスタートしました。休校中に、教室の机の配置や給食の配膳方法を見直すなどの感染症対策をし、子どもたちを迎えました。

夏休みは、授業時間を確保するために例年より短めにとり、8月半ばには授業を再開しました。感染症への心配に加えて、熱中症への不安がありましたが、学校応援基金で購入させていただいた大型扇風機やよしずのおかげで、無事猛暑の夏を乗り切ることができました。夏休み前は、いくつかの学校行事を中止していましたが、9月からは、感染症対策をした上で、できるだけ実施するようにしてきました。遠足や校外学習、冒険活動教室、修学旅行では、子どもたちのたくさんの笑顔を見ることができました。運動会は、学校単独で行いましたが、全校生で一つの目標に向かうことの意義を、あらためて実感しました。

これからも、感染症対策をしながら、「学校って楽しい！」と子どもたちが感じてくれるような、学校づくりを進めたいと思います。



運動会

●ウォーキングマップコース（案） 青字が案内板設置場所

- (1) 徳次郎宿（上町・中町・下町）の魅力満喫コース（約7.5km）
 市民センター → ①下徳次郎宿跡 → ②徳次郎城跡 → ③中徳次郎宿跡 → 二宮堰
 → 上町屋台 → ④上徳次郎宿跡 → 智賀都神社 → ⑤見世蔵（小日野屋） →
 → 富屋小学校跡 → 中町屋台 → あざ地蔵 → 薬師堂 → 赤岡神社 → 下町屋台
 → ⑥私塾明王院 → 市民センター
- (2) 日本文化遺産西根石蔵群と中世の古道コース（約9.0km）
 市民センター → ⑦人車鉄道徳次郎駅跡 → 西根屋台 → 西根観音堂 →
 → ⑧西根石蔵群 → 田中屋台 → 亀井六郎茂清の墓 → 伝法寺 → 門前屋台 →
 → ⑨徳次郎刀工鍛冶場跡（守勝神社） → 上徳次郎のけやき → 神明宮 →
 → 富屋村役場跡 → 市民センター
- (3) 下横倉城跡と御岳山を巡る山登り満載コース（約7.3km 下横倉城跡・御岳山登山を除く）
 市民センター → 第六接合井 → 下金井・下徳次郎一里塚 → 鶏鳥神社 →
 → 下金井・湯殿神社 → 下金井連蔵院跡 → 保古神社 → ⑩下横倉城跡 →
 → ⑪御岳山 → 富屋尋常小学校東校跡 → 上金井二宮林跡 → 市民センター
- (4) 上横倉の獅子舞と大網の天棚のルーツを巡るコース（約9.4km）
 市民センター → 多藤神社（上横倉の獅子舞） → 上横倉の砂礫地層 → 屋敷裏遺跡跡
 → 大網毘沙門神社 → 大網石造建築物 → ⑫大網高麗神社（大網の天棚） → 二宮堰
 → 市民センター



⑦ 人車鉄道徳次郎駅跡



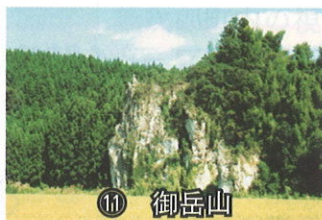
⑧ 西根石造建築群



⑨ 徳次郎刀工鍛冶場跡（守勝神社）



⑩ 下横倉城跡



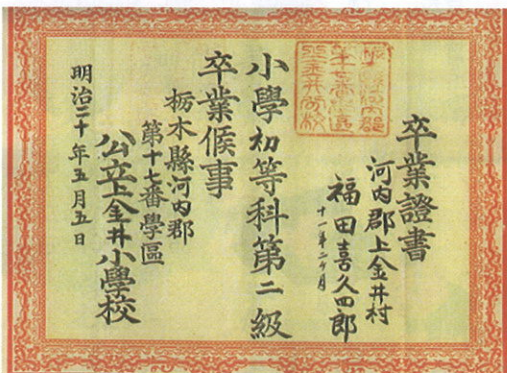
⑪ 御岳山



⑫ 大網高麗神社（大網の天棚）

ふるさと再発見 ⑦

上金井小学校跡



上金井町集会所の北西、字上の台の一角に、かつてこの辺りの児童たちが学んだ小学校跡があります。現在は平地林や畑になっており、面影はありませんが、今でも学校跡地を「古学校」と呼んでいます。

上金井に小学校が創立したのは明治16年1月で、当時は「明德舎分校上金井学校」と称し、その後、19年に「公立上金井小学校」（写真）となり、23年には「富屋村尋常小学東校」に改称されました。

さらに明治37年5月になると東校と西校（中町の小学校）が合併し、「富屋村尋常高等小学校（入江熊三郎初代校長）」が開校しました。しかし、合併後しばらくの間は、旧東校、旧西校の児童は、それぞれの校舎で学びました。明治44年になって下町に新校舎が新設されると、児童らは全員新校舎に移り、この時、名実ともに富屋の小学校が一校になりました。

本校の通学区域は主に上・下金井、下横倉でした。昭和期の戦前・戦後に能面師として活躍した入江美法（当時中町在住）は、本校の卒業生です。（文化財調査員 池田 貞夫）

避難所開設研修会開催

9月17日(木)、富屋地区避難所開設研修会が、まちづくり連絡協議会地域安全部会と防災会の主催により、防災会役員、地域安全部会役員、自治会長、消防団など40名を対象に開催されました。

この研修会は、近年の集中豪雨や大型台風による河川の氾濫や土砂災害に加え、新型コロナウイルス感染症の状況もあることから、市が改定した「避難所開設・運営ガイドライン」をもとに、避難所における感染症防止に注力した避難所の開設や運営に



ついて、台風シーズンを前に開催されたものです。

「とみや女性学」を開催

富屋生涯学習センター主催による「とみや女性学～地域デビュー応援講座～」が年間3回の予定で開催されています。第1回目は、コロナ疲れ解消のためのストレッチを行いました。第2回目は、多肉植物を絵のように植え込んで飾るタブロー作りを行いました。小さな枠の中に思いを詰め込み、疲れた心を癒しました。参加者の皆さんは、講師の話や実演を聞いたり見たりしながら、楽しく、いきいきと活動していました。

第3回目は、1月20日に、「防災力アップ・HUG講座」が予定されています。



ハーフバースデー健康相談

〈事前予約制〉

主に6か月児のお子さんを対象とした計測や子育ての相談を行っております。また、来所した記念に写真を撮れるスペースを設けていますので、お気軽にご相談ください。なお6か月児以外のお子さんも、ぜひご利用ください。

▽日時 令和2年12月1日(火)～令和3年3月31日(水)
午前9時～正午 午後1時～4時

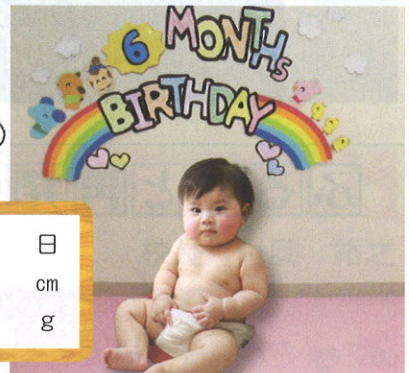
▽会場 富屋地区市民センター 相談室

▽対象 西部地区(城山、国本、富屋、篠井)在住の子とその保護者

▽定員 1人50分。1日6組まで。

▽申込み 電話で、富屋地区市民センターへ
電話(665)3698

▽持ち物 母子健康手帳、バスタオル、カメラまたはスマートフォン



月	日
身長	cm
体重	g



撮影に関しては、保護者の方がお撮りください!

富屋地区のデータ

(令和2年11月末現在)
世帯数 1,612世帯
総人口 3,604人
男性 1,713人
女性 1,891人

情報提供のお願い

富屋のよさを伝えていきたいと思っております。「地域の風景や行事の写真」や「地域で活躍されている方などの情報」をぜひ、右記事務局までお寄せください。

編集・発行

富屋地区まちづくり連絡協議会
〒321-2116
宇都宮市徳次郎町80番地2
(富屋地区市民センター内)
☎028-665-0002, 1663